

---

# 第18回モニタリング会議 ご説明資料 (2018年4月～2019年3月業績報告)

2019年6月



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	p.4
□ 軌道PL	
□ 全社BS	
2. 公共交通利用状況	p.7
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.9
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.10

## 計画と実績の対比（全社PL）

## 全社の事業再生計画第4期（2018年4月～2019年3月）実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数値は、「とさでん交通」と「とさでんトラベル（旅行業）」との合算

	2019/1～3月	2018年度	2018年度	計画比 ②÷①	2017年度 前年実績	前年比
	第4四半期 実績	12ヶ月 計画①	12ヶ月 実績②			
売上高	1,327	5,506	5,722	104%	5,697	100%
売上原価	160	575	806	140%	697	116%
差引収益	1,166	4,931	4,916	100%	5,000	98%
人件費	563	2,544	2,641	104%	2,704	98%
厚生費	104	299	391	131%	399	98%
動力費	95	524	420	80%	387	109%
修繕費	65	298	271	91%	289	94%
物件費	23	108	82	76%	114	72%
経費	205	1,008	930	92%	978	95%
諸税	18	105	77	74%	77	101%
減価償却費	128	512	506	99%	486	104%
営業費計	1,200	5,398	5,318	99%	5,433	98%
営業利益	-34	-467	-402	-	-433	-
営業外収益	17	56	80	143%	93	86%
営業外費用	15	66	62	95%	68	92%
経常利益	-32	-477	-384	-	-407	-
特別利益	671	532	686	129%	1,206	57%
特別損失	157	0	158	-	646	24%
税引前当期利益	482	55	143	259%	153	94%
法人税等	36	16	48	297%	53	90%
当期純利益	446	39	95	242%	100	95%

単位：百万円

## ＜事業再生計画比＞

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益すべて計画達成

- 【売上高】5,722百万円となり計画比104%
- 【差引収益】売上原価は旅行事業部門の要因で増加したが、差引収益は4,916百万円となり計画比ほぼ100%
- 【営業費】人件費は人事制度改正等により計画比増加したが、動力費の軽油単価計画比低位推移や修繕費、物件費、経費などの減少により、計画比99%
- 【営業利益】▲402百万円であるが、計画は上回った
- 【経常利益】▲384百万円であるが、計画は上回った
- 【特別利益】運行等補助金、軌道事業の工事負担金受入額等により686百万円計上
- 【特別損失】固定資産圧縮損などで158百万円を計上
- 【当期純利益】95百万円の黒字で計画達成

## ＜対前年実績比＞

- 売上高は前年並。差引収益は売上原価増により微減
- 営業費は、動力費が増加したが、人件費、修繕費、物件費、経費等が減少し前年比98%
- 営業損益・経常損益ともに前年比で赤字縮小
- 当期純利益は前年比95%

## ＜経費科目説明＞

動力費・・・軌道動力費・バス軽油費等 修繕費・・・軌道、バス事業における各種修繕等 物件費・・・水道光熱費・備用品等  
 経費・・・賃借料・借地料・広告宣伝費・道路使用料等 諸税・・・固定資産税・自動車税等 減価償却費・・・固定資産償却・のれん代償却  
 営業外収益・・・受取配当金・業務委託料等 営業外費用・・・支払利息等 特別利益・・・補助金等 特別損失・・・固定資産圧縮損等

## 計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2018年4月～2019年3月実績は、以下のとおりです

	2018年度 12ヶ月	2018年度 12ヶ月	計画比 ②÷①	2017年度 前年実績	前年比
	計画①	実績②			
売上高	1,064	988	93%	1,031	96%
売上原価			-		-
差引収益	1,064	988	93%	1,031	96%
人件費	736	790	107%	831	95%
厚生費	81	117	144%	121	97%
動力費	186	157	85%	142	111%
修繕費	120	105	88%	118	89%
物件費	29	19	65%	28	67%
経費	164	151	92%	158	96%
諸税	25	12	47%	12	96%
減価償却費	116	137	118%	106	129%
営業費計	1,456	1,489	102%	1,516	98%
専属営業損益	-392	-501	-	-485	-
減価償却前専属営業損益	-276	-364	-	-379	-

単位：百万円

## &lt;計画差異要因&gt;

## ✓ 売上高

- 2017年10月に実施した安芸線移管やスクール便減少、2018年10月土佐市ドラゴンバスの移管、減キロにより計画比93%

## ✓ 費用

- 人件費：人事制度改正による増加、乗務員不足による時間外手当増加
- 厚生費：人件費増加及び科目計上ルール変更に伴う増加
- 動力費：軽油単価の計画比低位推移による減少
- 減価償却費：車両更新等による増加

## ✓ 専属営業損益

- 動力費の低減はあるが、売上の減少、人件費の増加などにより、計画比▲109百万円

## &lt;前年比差異要因&gt;

## ✓ 売上高

- 安芸線移管と減キロ等の影響により▲43百万円

## ✓ 費用

- 人件費：安芸線移管等仕業減による減キロによる減少
- 動力費：軽油単価の上昇による増加
- 修繕費：車両更新・減車による減少
- 減価償却費：車両更新による増加

## ✓ 専属営業損益

- 売上減や動力費、減価償却費増を主因に赤字幅拡大

&lt;科目計上ルール変更とは&gt;

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費に計上していたが、実績は、人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

&lt;専属営業損益とは&gt;

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

## 計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2018年4月～2019年3月実績は、以下のとおりです

	2018年度	2018年度	計画比 ②÷①	2017年度 前年実績	前年比
	12ヶ月 計画①	12ヶ月 実績②			
売上高	1,000	1,075	107%	1,045	103%
売上原価			-		-
差引収益	1,000	1,075	107%	1,045	103%
人件費	562	631	112%	627	101%
厚生費	70	95	135%	94	101%
動力費	77	83	107%	80	103%
修繕費	46	46	100%	59	78%
物件費	22	25	111%	28	90%
経費	60	71	119%	66	108%
諸税	15	6	37%	6	95%
減価償却費	48	39	82%	34	117%
営業費計	902	997	111%	994	100%
専属営業損益	98	78	80%	51	153%
減価償却前専属営業損益	146	117	80%	85	138%

単位：百万円

## ＜計画差異要因＞

- ✓ 売上高  
現金収入増などにより計画をクリア
- ✓ 費用
  - 人件費：人事制度改正による増加、時間外手当増加
  - 厚生費：人件費増加・科目計上ルール変更に伴う増加
  - 経費：ですかシステム更新賃借料、美術館通などP&R賃借料等による増加
  - 減価償却費：車両等資産の償却減少
- ✓ 専属営業損益
  - 営業費増加により計画比80%

## ＜前年比差異要因＞

- ✓ 売上高  
現金収入が増加し、前年比103%
- ✓ 費用
  - 人件費：乗務員不足による時間外手当増加
  - 厚生費：人件費増加による
  - 修繕費：補助対象減少による次年度繰越等
- ✓ 専属営業損益  
現金収入増などにより+27百万円

## ＜科目計上ルール変更とは＞

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費に計上していたが、実績は、人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

＜専属営業損益とは＞

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

## 計画と実績の対比(全社BS)

2019年3月末時点のBSは、以下のとおりです

のれん代控除後の実態純資産は計画比+972百万円(計画450百万円、実績1,422百万円)

単位: 百万円	0期			1期			2期			3期			4期		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
	15/3	15/3		16/3	16/3		17/3	17/3		18/3	18/3		19/3	19/3	
流動資産	1,658	2,235	577	1,573	1,965	392	1,384	1,634	250	1,362	2,037	675	1,370	1,568	198
現金預金	860	1,175	315	792	1,273	481	615	737	122	593	950	357	602	581	-21
売上債権	577	821	244	560	492	-68	554	710	156	554	908	354	553	809	256
棚卸資産	82	73	-9	82	58	-24	77	60	-17	77	71	-6	77	81	4
その他	138	166	28	138	142	4	138	127	-11	138	108	-30	138	97	-41
固定資産	6,112	6,319	207	6,137	6,196	59	6,060	6,355	294	5,997	6,610	613	5,821	6,487	666
有形・無形固定資産	4,787	4,759	-28	4,812	4,687	-125	4,735	4,785	50	4,672	4,828	156	4,496	4,755	259
(うち、のれん相当額)	935	935	-	810	810	-	685	685	-	561	561	-	436	436	-
投資その他の資産	1,325	1,560	235	1,325	1,509	184	1,325	1,570	245	1,325	1,782	457	1,325	1,732	407
資産の部	7,770	8,554	785	7,710	8,161	451	7,445	7,989	544	7,359	8,647	1,288	7,191	8,055	864
流動負債	1,167	1,620	453	1,124	1,333	209	1,100	1,374	274	1,101	1,892	791	1,091	1,450	359
仕入債務	798	1,121	323	789	880	91	774	1,006	232	769	1,480	711	764	983	219
その他	369	499	130	335	453	118	326	368	42	332	412	80	327	467	140
固定負債	5,603	5,630	27	5,666	5,392	-274	5,550	5,073	-477	5,411	4,957	-454	5,214	4,747	-467
借入金	3,675	3,675	-	3,471	3,442	-29	3,272	3,152	-120	3,060	2,880	-180	2,853	2,681	-172
その他	1,928	1,955	27	2,195	1,950	-245	2,278	1,921	-357	2,351	2,077	-274	2,361	2,066	-295
負債の部	6,769	7,250	480	6,790	6,725	-65	6,649	6,447	-204	6,512	6,849	337	6,305	6,197	-108
純資産の部	1,000	1,304	304	920	1,436	516	795	1,542	747	847	1,798	951	886	1,858	972
負債及び純資産合計	7,770	8,554	785	7,710	8,161	451	7,445	7,989	544	7,359	8,647	1,288	7,191	8,055	864

指標の検討	計画0期	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
実態純資産(のれん控除後)	65	369	304	110	626	516	110	857	747	286	1,237	951	450	1,422	972
有利子負債	3,675	3,675	0	3,471	3,442	-29	3,272	3,152	-120	3,060	2,880	-180	2,853	2,681	-172
D/Eレシオ	3.7	2.8	-0.9	3.8	2.4	-1.4	4.1	2.0	-2.1	3.6	1.6	-2.0	3.2	1.4	-1.8
実態自己資本比率(のれん控除後)	1.0%	4.8%	3.8%	1.6%	8.5%	6.9%	1.6%	11.7%	10.1%	4.2%	15.3%	11.1%	6.7%	18.7%	12.0%

路線バスの2018年4月～2019年3月利用状況：運送収入は前年比96%、IC利用客数は前年比95%

- 本表は運送収入のみ  
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

単位：百万円

	2018/1～3月	2019/1～3月	2017年度	2018年度	前年比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期	3ヶ月 実績	通期 前年実績①	通期 実績②	
運送収入	236	228	1,002	958	96%
①定期全体	45	43	196	181	93%
②定期外収入	191	185	806	777	96%
うち、現金収入	105	105	440	428	97%
うち、SF	86	80	367	349	95%

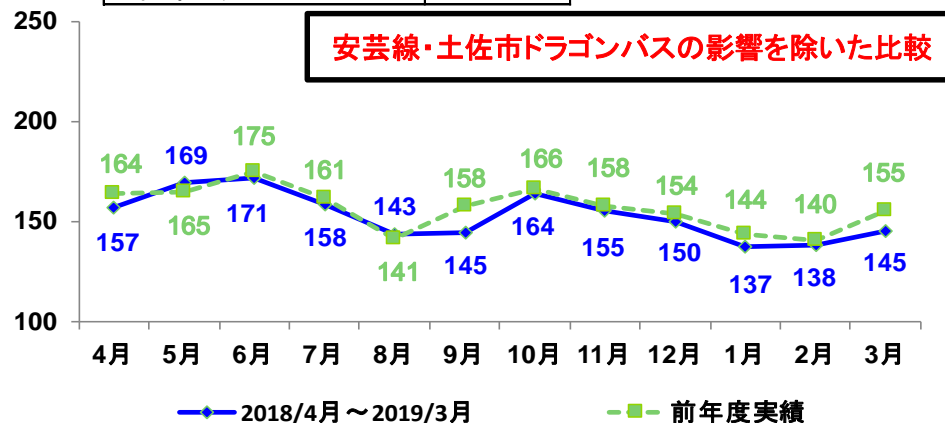
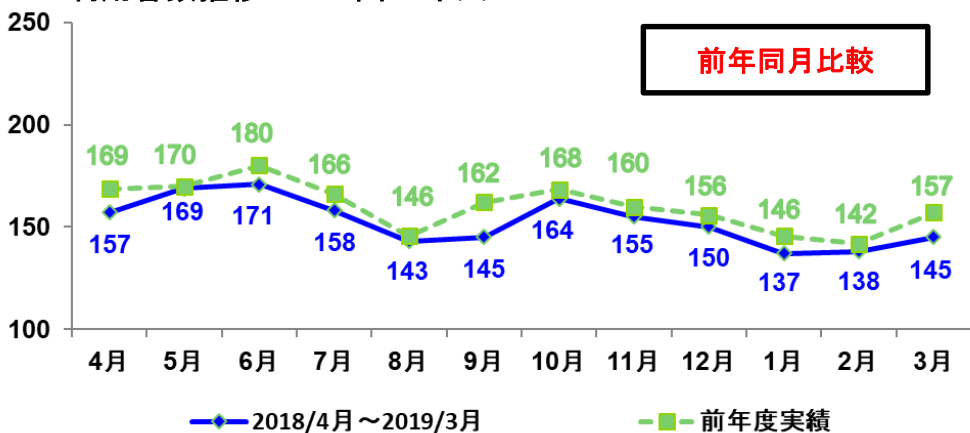
<路線バス収入の増減要因>

- ✓ 「ダイヤ改正による減キロ」  
 2016年10月1日 △3.0%  
 2017年 4月1日 △1.5%   10月1日 △4.8%  
 2018年10月1日 △8.6%
- ✓ 運送収入96%の要因は、2017年10月の安芸線および2018年10月土佐市ドラゴンバスの移管による減少など
- ✓ 7月の集中豪雨・8月9月の台風による運休の影響による減少

【移管等の影響】 単位：百万円

	H30
安芸線（東部交通実績）	▲15
土佐市ドラゴンバス	▲6

<利用客数推移> 単位：千人



<利用客について>

- ✓ 減少要因は、2017年10月に高知東部交通へ移管した安芸線や7月の集中豪雨、8,9月の台風による運休の影響でICカード利用客数は1,833千人。前年度は1,921千人にて95%であるが、安芸線・土佐市ドラゴンバスの影響を除いた前年比では1,880千人で98%となる

【現金利用を含む総利用客数】※定期券は利用実績で集計

- ✓ 年度累計の総利用客数は3,045千人、前年は3,144千人で97%

- IC使用率は約60% (利用客数による)



## 公共交通利用状況（軌道）

## 軌道の2018年4月～2019年3月利用状況：運送収入は前年比103%、IC利用客数は前年比100%

- 本表は運送収入のみ  
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

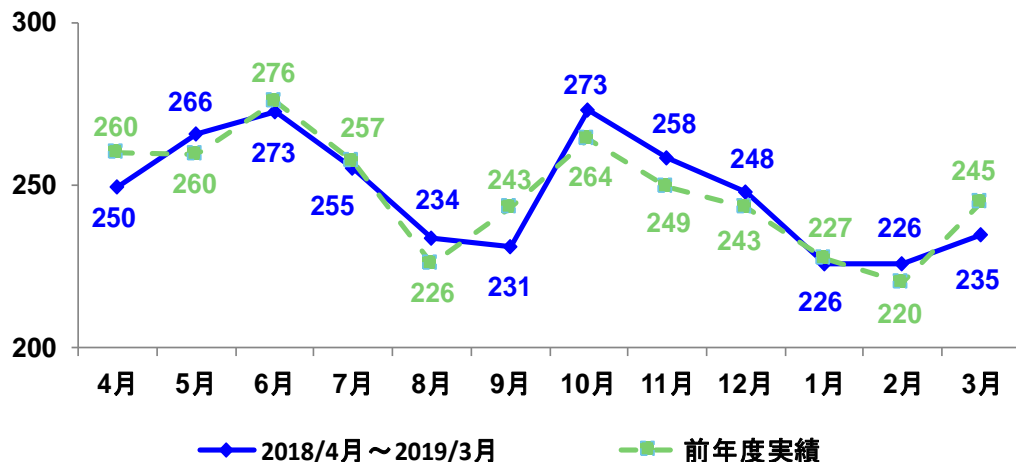
単位：百万円

	2018/1～3月 3ヶ月	2019/1～3月 3ヶ月	2017年度 通期	2018年度 通期	前年比 ②÷①
	前年同期	実績	前年実績①	実績②	
運送収入	222	229	932	961	103%
①定期全体	60	62	253	257	102%
②定期外収入	161	166	679	704	104%
うち、現金収入	108	113	454	478	105%
うち、SF	54	53	225	226	100%

## ＜軌道収入の増減要因＞

- ✓ 運送収入は、前年比103%と増収
- ✓ 雨天日は、前年比+11日（豪雨・台風を除く）
- ✓ 7月集中豪雨による学校休、8月・9月の台風の影響による運休あり。  
一方、雨天日が前年比+11日、志国高知幕末維新博による観光客の入り込み、各種利用促進施策の取り組みなどの効果もあり、現金収入を中心に好調だった

## ＜利用客数推移＞ 単位：千人



## ＜利用客について＞

- ✓ 前年同月比、5月、8月、10月～12月、2月は増加、その他は減少
- ✓ 年度累計ICカード利用客数は2,974千人、前年度は2,971千人にて微増
- ✓ 年間を通じ、総利用客数は対前年比100千人（102%）増。雨天日が多かったことに加え、幕末維新博の観光や全国規模イベントもあって、利用者が伸びた

## 【現金利用を含む総利用客数】※定期券は、1枚×60人で集計

- ✓ 年度累計の総利用客数は6,224千人、前年度は6,124千人で102%

- IC使用率は約53%（利用客数による）



## 公共交通取組状況

## 2018年度、路線バスと軌道の取組施策は以下のとおりです

## 《2018年度 実施施策》

内容	路線バス	軌道
■2018年4月1日～2019年3月末まで		
1. 「バスこっち」データを活用した運行時分の見直し 4月	○	-
2. ですかキャンペーン実施 4月～	○	○
3. 日産サテリオ高知 交通安全フェア 4月	○	-
4. 車庫見学の受け入れ(児童福祉施設) 4月、7月	○	○
5. ローラー活動(棧橋・神田他) 4月、6月、7月	○	○
6. 電車の日イベント 5月	-	○
7. 設置型バスロケ運用開始 5月	○	-
8. 高校県体応援一日乗車券の販売 5月	-	○
9. 公共交通体験プログラム<電車とバスで高知をうろちよろ> 6月	○	○
10. 防災訓練 6月	○	○
11. 春・夏・冬休み!バスキッズ定期券販売開始 7月～	○	-
12. バスキッズイベント 7月・8月	○	-
13. とさっ子タウン2018 イベント出展 8月	-	○
14. 小学生を対象とした出前授業 8月、9月	○	○
15. 公共交通に関する講演活動(高坂学園生涯大学) 9月	○	○
16. 交通安全ひろば 9月	○	○
17. ちより街テラス 交通安全フェア 10月	○	-
18. 国土交通省大学 特別講師派遣 10月	○	○
19. 車庫見学の受け入れ(須崎小・付属中 他) 10月、11月	-	○
20. 小学生を対象とした出前授業 10月、11月	○	○

## 《2018年度 実施施策》

内容	路線バス	軌道
■2018年4月1日～2019年3月末まで		
21. クラウドファンディング 看板設置プロジェクトの実施 11月	-	○
22. ローラー活動(船岡南団地・瀬戸東団地) 11月、12月	○	○
23. イルミネーション電車の運行 12月	-	○
24. ドライバー異常時対応システム EDSS動作テスト実施 12月	○	-
25. 公共交通マーケティング研究会スタートアップセミナー 講演 12月	○	○
26. 新春初詣きっぷの発売 1月	○	○
27. 「ダイヤモンドクロッシング」「トリプルクロス」看板設置 1月	-	○
28. ローラー活動(棧橋通2丁目～梅ノ辻) 1月	○	○
29. 小学生を対象とした出前授業(潮江東小、春野東小) 2月	○	○
30. 旭町ソーレ「こうち環境博2019」ブース出展 2月	○	○
31. 車庫見学の受け入れ(慶應義塾幼稚舎他2校) 3月	-	○
■2019年4月以降(参考)		
1. オリジナルフレーム切手発売 4月	-	○
2. 高知赤十字病院乗り入れ 5月	○	-
3. ローラー活動(長浜) 5月	○	○
4. 公共交通体験プログラム<電車とバスで高知をうろちよろ> 6月	○	○

2018年4月～2019年3月の公共交通に関する設備投資は、以下表のとおりです

【2018年度 設備投資計画実施内容】

単位：百万円

事業	計画			実施		備考
	投資計画総額	主な投資内容	投資計画額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	177	補助車両(5輛)の購入	107	108	安全安心、利便性向上	補助車両(ノンステップバス5輛)購入
		その他	71	75	安全安心、利便性向上	中古車両8輛運用開始、領石回し場路盤改良工事完了 一宮BT建替完了12月5日運用開始 他
軌道	157	レール重軌条化工事	50	49	安全安心	榊形～上町1丁目
		分岐器交換	27	30	安全安心	上町5丁目
		き電線改良	12	11	安全安心	後免線、伊野線の一部区間
		朝倉待合所 全面改修	12	0	利便性向上	工事着工も完成が翌期に繰り越し (着工後に床下の土、流出発見)※H31.4.25運用開始
		その他	56	41	安全安心他	電柱建替更新、葛島P&R駐車場整備他完了 4柱式リフトジャッキ、ハートラム貫通幌交換他
合計	334			314		

■一宮BT建替は、棧橋集約費用の一部として2016年度に50百万円を予定し、2017年度へ持ち越したが、土地売却・整備計画遅延により2018年度へ持ち越し

■路線バス低床化率 56.80%(平成31年3月末時点)【路線バス車両数125輛(空港連絡除く)、うち低床車両71輛】

【事業再生計画 設備投資計画進捗状況(累計)】

単位：百万円

		計画0期 15/3半期	計画1期 16/3期	計画2期 17/3期	計画3期 18/3期	計画4期 19/3期	計画5期 20/3期	累計	
路線バス	計画	109	151	111	111	111	111	703	
	実績	146	70	120	138	183		657	93.5%
軌道	計画	51	139	279	197	118	37	821	
	実績	51	125	116	366	131		789	96.1%